

第5回 奈良公園地区整備検討委員会 議事要旨

日時 : 平成25年7月31日(水) 午後2時00分～4時00分
場所 : 奈良県新公会堂 1階 会議室1・2
出席者 : 委員長 増井 正哉
委員 井原 縁、平井 宗助、西口 実、北口 照美、佐野 純子、
塚口 博司、前田 剛志、増尾 朗、山本 浩扶臣、
遊津 隆義
事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 《奈良県》道路環境課、風致景観課、奈良土木事務所、
奈良公園管理事務所、文化財保存課、管財課
《関係機関》奈良市景観課、奈良市文化財課、奈良市観光振興課

- 議題 ①「奈良公園基本戦略」の進捗状況について
②登大路ターミナルの整備について

議事要旨

- 「奈良公園基本戦略」の進捗状況について
 - ・基本戦略は多岐にわたるものであり、考えながら進めていくことは理解できるが、全体像がとらえにくい。
 - ・特区については、取り組みとしてよいものであるが、名勝であることの持つ意味は自己規制と受け止め、奈良公園を守っていくチェック機能の確保が重要。
 - ・若草山移動支援については、バリアフリーや景観をクリアするという観点ではなく、必要性についてしっかり考え、とらえていただきたい。
 - ・奈良公園全体のバリアフリーを考えた中での移動支援検討をするべき。
 - ・移動支援機能の必要性は、「奈良にとっていいものか」という観点から検討されたい。

- 登大路ターミナルの整備について
 - ・ターミナルとは異なる手段に転換するポイントであり、活用の可能性について、場所を考えると県庁舎を関連させた可能性を探ってみてはどうか。既存の県庁舎は建築的にも評価されており、一体的に使っていくのもひとつ。
 - ・荷物預かり所やトイレ、ごみ捨て場など現在奈良公園に不足しているものを揃えるという考えがある。
 - ・利用対象年齢を若い人たちとしてアピールできるものを、この機会に作るという視点も必要。
 - ・奈良公園への来訪者にターミナルで仕掛けをして、奈良県南部方面へ誘導することも必要。

- その他
 - ・奈良公園の整備にもひとつキャッチフレーズがあれば考えやすくよいのでは。